

質 疑 応 答 書 (項目追加)

見積参加者各位

平成 23年 3月 17日

秋田県秋田市千秋矢留町5-1-1002

マウントビル10階

間 建 築 研 究 所

主 宰 堀 井 圭 亮



順不同、共通内容の質疑は一項目に纏めて記載。

	質 疑	回 答
1	既存車庫移設後の仕上げはアスファルト舗装でよいか。又、構造は職員駐車場と同様としてよいか。	宜しい。
2	スロープ改修部の内容詳細について。	融雪設備敷設に伴い、既存コン土間の撤去・立上部への差金アンカー、コン土間再構築を行なう。他、既存と新設スロープ部のレベル合せの為の各部改修を行なう。(囲繞地部分への暗渠排水含)
3	車庫棟の外壁金属サイディングの厚さについて。	厚15mmとする。
4	震災の影響による資材価格高騰について。	資材価格の上昇巾を推定する事は難しいが、増額変更は無いものとして、請負可能な単価にて値入を行う事。
5	震災の影響により資材調達が困難な状況と工期延長について。	資材の調達の状況を見て、契約交渉時に協議する。
6	目隠し塀新設は外構工事に含むものか。	外構工事に含むものとする。
7	野立看板撤去は外構工事に含むものか。	車庫棟移築増築工事の撤去費に含むこと。
8	舗装工事：路床安定処理の厚さの指示願ひ。	300mmとする。
9	屋根：嵌合堅平葺き α 0.35の仕様について。防水堅平0.35mmと考えてよいか。	緩勾配屋根用(防水テープ品)、厚さ・仕様等は図面表記の通り。
10	現在の電力、上下水道の基本料金額について。	電力 基本料金 98,380円 上下水道料金 98,000~122,000円程度
11	施工図・詳細図の作成に伴いCADデータの貸与は可能か。	JWW形式にて貸与する。
12	デラクリートは材料に直接塗装でよいか。	システム標準施工方法に従い、ベースコート、フィニッシュ等を施工する。
13	発生残土量が構内敷き均しでは処理しきれないと思われるが、処分用地は有るのか。	増築部スラブ下部、新設・改修スロープ土間下の盛土に再利用、構内敷均し、他に余る部分は処分費を計上の事。

14	南棟南面外壁仕上げ材について。	平面詳細図1(A-17)に記載の通りとする。
15	玄関脇リブパネルの下地について。	外壁同材(窯業系サイディング)を下地とする。
16	玄関脇スロープ上の小庇の固定方法と詳細について。	X5、6通り柱C1から方持。S-5参照 仕様詳細は南棟屋根に同じ。
17	車寄せ屋根の雨水処理方法について。	緩勾配金属屋根より、大庇端(既存建物側)へ集水(側溝は改アス防水)の上、X9通り(風除室脇)DPへ接続。
18	トイレ巾木(壁同材)の目地はシーリング処理でよいか。	壁同様シーリング処理とする。
19	家具の詳細について。	K-1 W2200D750H700集成材 α 30程度 K-2 W2650D300H1800メラミンフラッシュ程度 K-3 W1100D550H1800メラミンフラッシュ程度
20	造作材はタモ集成材程度と考えてよいか。	宜しい。施工時にサンプル提出の上、寸法安定性に問題なければ代用樹種も可とする。
21	雨水排水のドレン及び配水管種別、径について。	ストレーナー付ドレン、塩ビ製、100 ϕ
22	スプリンクラーの非常電源をどのように考えたらよいか。	現説内容の通り、スプリンクラー及び関連設備は見積り対象外とします。
23	冷暖房のエアコンドレンは外部垂れ流しとしてよいか。	宜しい。
24	給排水衛生設備の既設部改造で不要配管接続口閉鎖とあるが、床上掃除口(COA)にて処理する事でよいか。	宜しい。
25	給排水設備配管で既設部改造箇所に床下点検口を設置予定と考えてよいか。	宜しい。
26	換気設備でOA及びEAはどこに配管したらよいか。	南棟廊下吹抜部へのご質疑かと思われます。吹抜部分に2箇所配管ルートとなる天井を設け、腰屋根東壁面に設置を行なう、その他は西面壁に設置予定。A-30参照
27	意匠図(A-6.7)に床暖房設備の記載があつて設備図に記載の無い範囲は床暖房設備とするのか。	居室4人は既存で敷設済み、食堂2(畳スペース除く)は新たに床暖設備(約94 m^2)を敷設する。既存機械室にボイラーを追加設置(19.2kw16,500kcal)、仕様は南棟に準じます。